



令和4年度診療報酬改定説明会 開催案内

令和4年度診療報酬改定が目前に迫ってまいりました。2025年には、医療・介護の対象者が約750万人になると予測される中、地域包括ケアシステムの整備に向けて、これまでの診療報酬・介護報酬の改定ごとに様々な施策がとられてまいりました。これからの時代に地域で選ばれ生き残っていくためには、慢性期医療として医療中心でも介護中心でもなく、入院医療や入所の施設系サービス、在宅に向けた通所・訪問系サービスなど、対象者の状態によって医療や介護の提供量や比率を変えながら、一人ひとりと長く関わっていく体制を整えていくことではないでしょうか。

特に医療の分野では、急性期医療と慢性期医療の機能分担が明確になってまいりました。高度急性期での治療を終えた患者をスムーズに慢性期医療が受け入れていかなければ、病床が滞ったり、患者の回復が遅れてしまうことは今回のコロナ禍でも明らかになった現象です。慢性期治療病棟を軸とした多機能型運営がこれからの経営を安定させます。是非、本説明会でそのヒントを得られてください。

当日本慢性期医療協会の診療報酬改定説明会は、オンライン開催とし無料でご視聴いただくことができます。是非皆様でご視聴くださいますようお願い致します。会員一丸となり真摯に慢性期医療に取り組んでまいりましょう。

WEB 配信

日時：令和4年3月10日頃より配信開始（予定）

視聴費：無料

視聴方法：日慢協ホームページに視聴 URL をアップ致します

<プログラム>

(敬称略)

	講演内容
講演 1	令和4年度診療報酬改定の概要 厚生労働省保険局医療課
講演 2	良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない 武久洋三（日本慢性期医療協会会長）
講演 3	令和4年度診療報酬改定を読み解く 池端幸彦（日本慢性期医療協会副会長・中央社会保険医療協議会委員）
講演 4	令和4年度診療報酬改定からみた慢性期医療の方向性 井川誠一郎（日本慢性期医療協会常任理事・中医協入院医療等の調査評価分科会委員）
講演 5	リハビリテーション力のアップを目指そう 橋本康子（日本慢性期医療協会副会長・慢性期リハビリテーション協会会長）
講演 6	これからは総合診療医の時代 西尾俊治（日本慢性期医療協会常任理事・総合診療医認定講座委員会委員長）